様式第１７（第４２条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定更新申請書  申請年月日　2023年2月27日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）かぶしきかいしゃ　めたっぷす  一般事業主の氏名又は名称 株式会社メタップス  （ふりがな）やまざき ゆういちろう  （法人の場合）代表者の氏名 山﨑　祐一郎 印  住所　〒150-6139  東京都渋谷区渋谷2-24-12  法人番号　2011101057356  　情報処理の促進に関する法律第３２条第１項の認定の更新を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 中期経営計画「The Road To 2025」 | | 公表日 | 2020年8月14日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 自社ホームページ　「IRニュース」<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1876210/00.pdf>  中期経営計画「The Road To 2025」P3～5、27～29、63～67  <https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1906913/00.pdf>  <https://www.metapscloud.com/>  メタップスクラウドサービス内容説明資料 | | 記載内容抜粋 | コロナ禍で世の中は様変わりし、今後も未知の疫病など自然の猛威が発生するリスクを見据え、三密回避等の新たな生活様式が始まった。また、新たな日常（New Normal）への対応により、人の価値観も大きく変化し、社会は｢集中｣から｢分散｣が進み、国や企業の在り方・役割も変化することで、｢個の時代｣への移行が加速すると考えている。  そのような中で、社員の生産性を向上させ、事業を成長させるためには、デジタル技術の活用、DXが不可欠であると考えている。当社はこれまでも、スマホ、PCといったデジタル端末や各種SaaSの活用に積極的に取り組んでおり、そこから得られた問題認識やニーズを新規事業開発に繋げることが当社の強みを強化する道であると認識している。  「世界を解き放つ」を経営ビジョンに、「テクノロジーでお金と経済のあり方を変える」を経営ミッションとして掲げ、成長戦略に「SaaSを中心とするDX支援事業への投資」を掲げており、自社での経験から、DXの進展によりさらにDXが必要になることを見越して、DXの中心となるSaaSを管理、有効活用するメタップスクラウド事業を推進することを公表している。 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 2020年8月14日付　取締役会決議 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 中期経営計画「The Road To 2025」 | | 公表日 | 2020年8月14日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 自社ホームページ　「IRニュース」<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1876210/00.pdf>  中期経営計画「The Road To 2025」P7～15、P27～29、P35～37、63～67  <https://metaps.com/ja/archives/press_release/4977>  <https://lp.sre-shine.jp/>  SRE:shineサービス説明資料  <https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1906913/00.pdf>  <https://www.metapscloud.com/>  メタップスクラウドサービス内容説明資料 | | 記載内容抜粋 | 当社では、経営ビジョン・ミッションに基づき、DXを積極的に推進し、100％リモート勤務が可能な体制・環境を整備しており、オフィスをフリーアドレスによるレンタルオフィス（Wework)に移転し、フレックスタイム制、時短勤務を導入している。積極的に様々なSaaSを利用するとともに、コア業務以外の外注化も進めている。退職者の再雇用、正社員から業務委託への移行、業務委託者から正社員への登用等、多様な採用形態を認めるとともに、副業も承認している。また、電子サインを導入するとともに、会議のWeb開催を原則とし、会議資料等のWeb共有により、ペーパーレスを実現している。このように実際にDXを推進してゆく中で、不便や改善のニーズを感じたことを事業開発のシーズとしている。事業戦略に事業資産を活用し、社会と企業のデジタル化を支援すること、また、全ての経済活動を可視化し、事業を通して得られる様々なデータの利活用を提案することを掲げ、データ分析ツール等のSaaSの提供や開発支援により企業のDX・データの見える化を支援することを個別戦略として策定した。 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 2020年8月14日付　取締役会決議 |   　　① 戦略を効果的に進めるための体制の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | 中期経営計画「The Road To 2025」P33、37、63～67 | | 記載内容抜粋 | テクノロジー業界では、常に新しい事業を創出しなければ生き残ることができず、挑戦して失敗する者が称賛され継続してイノベーションを生みだせる組織風土を醸成する必要があるため、スピード重視でアジャイル開発が可能な組織体制とし、従業員１人ひとりがイキイキと働き、潜在能力を発揮し、持続的に成長することできるような環境を整備し、経営理念や価値観を浸透させ、情報の透明化を図り、人とのつながりの構築、成果の称賛を推進することで組織力を強化する。具体的には、エンジニアやデザイナーなど高度IT人材に特化したフリーランス紹介サービス「re:shine（リシャイン）」を立ち上げるとともに、社内にフリーランスの働き方に正社員の保証を提供するフリーランス正社員制度を導入することで、多様な高度IT人材を、各システム開発プロジェクトの進捗段階によって柔軟に確保、活用できる体制を構築している。また、事業創出を強化していく中で、事業開発の進捗に応じた柔軟な採用、人材配置、評価を実施するとともに、管理業務のDXを進め、そのスキル・経験を事業開発に適宜フィードバックすることで中期事業計画の達成を目指している。 |   　　② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | 自社ホームページ　「IRニュース」<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1876210/00.pdf>  中期経営計画「The Road To 2025」P65～67  <https://metaps.com/ja/archives/press_release/4977>  <https://lp.sre-shine.jp/>  SRE:shineサービス説明資料  <https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1906913/00.pdf>  <https://www.metapscloud.com/>  メタップスクラウドサービス内容説明資料 | | 記載内容抜粋 | コロナ禍のリモート勤務増加に伴い、社員間の総合理解、コミュニケーション向上のツールとしてクラウド人材管理ツール「silsil（シルシル）」を自社開発、それを活用した昼食会を実施している。  予実管理ツール「Odessa（オデッサ）」を自社開発、これを活用して予実管理を行っている。  レンタルオフィスへの移転を機に、自社サーバーをAWSに転換するとともに、その運用を通じて蓄積したノウハウをクラウドネイティブに適したシステム設計のサポートやオンコール体制を構築する「SRE（Site Reliability Engineering）」事業へと発展させている。  また、自社でのSaaSの積極導入から生じた問題把握を通じて、DX支援事業の中核として、SaaSを管理することで、企業・働く人を制約から解放するSaaS一元管理ツール「メタップスクラウド」を展開している。 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 中期経営計画「The Road To 2025」 | | 公表日 | 2020年8月14日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 自社ホームページ　「IRニュース」<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1876210/00.pdf>  中期経営計画「The Road To 2025」P14,15 | | 記載内容抜粋 | 社内でDXを推進し、そこから得たシーズ元に事業開発を行ってゆく進捗を図る指標としては、SaaS事業特有のストック型収益の割合向上とARR（Annual Recurring Revenue（年間定額収益））の成長度合いが適格であると考えており、ARR100億円の早期達成を目指し、月次、四半期での進捗モニタリングを行い、次のアクションにフィードバックしている。 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | 2020年8月14日  2020年9月30日 | | 発信方法 | 自社ホームページ　「IRニュース」  <https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1876210/00.pdf>  新サービス「メタップスクラウド」開始に関するお知らせ  <https://ssl4.eir-parts.net/doc/6172/tdnet/1906913/00.pdf>  オウンドメディア「meetaps」の配信  <https://meet.metaps.com/entry/2020/09/30/181914> | | 発信内容 | 2020年8月14日付適時開示「中期経営計画「The Road To 2025」の策定に関するお知らせ」および2020年11月16日付適時開示「新サービス「メタップスクラウド」開始に関するお知らせ」は、代表取締役社長の山﨑祐一郎名で開示を行っている。  「世界を解き放つ」を経営ビジョンに、「テクノロジーでお金と経済のあり方を変える」を経営ミッションとして掲げ、成長戦略に「SaaSを中心とするDX支援事業への投資」を掲げており、自社での経験から、DXの進展によりさらにDXが必要になることを見越して、DXの中心となるSaaSを管理、有効活用するメタップスクラウド事業を推進することを公表している。  オウンドメディア「meetaps」において、代表取締役の山﨑祐一郎が「自律分散型社会を実現するために、メタップスは「DXの推進」と、「個の解放」を推し進めていきます。そして、人々が様々な社会の制約から解放されることで、誰もが自由に新しい価値を創造でき、多様性のある生き方を追求できる世界になると信じています。」と発信した。 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2022年12月 | | 実施内容 | DX推進指標自己診断をサイトから提出 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2022年4月頃　～2022年12月頃 | | 実施内容 | メタップスとしてISMS認証を受けることを決定、一次審査・二次審査を経て2023年1月25付で認証を取得した。  （登録番号 JUSE-IR-506）  その過程で社内規程（情報セキュリティ方針、セキュリティ基本規程、情報セキュリティ実施要領）を整備し、情報セキュリティに関する責任者を任命するとともに、内部監査チェック項目に情報セキュリティに関する項目を含めて実施している。また、年に1回、全従業員に対して情報セキュリティ教育を実施している。 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１７（第４２条関係）（第四面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定更新申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所」欄は、氏名については、記名押印又は自筆による署名のいずれかにより記載すること。一般事業主が法人の場合にあっては、住所については主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請内容は正しく記載すること。認定更新後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。